

農業と地域活性化のため 食や観光にも挑戦中



第1回グッドローカル農業大会で
最優秀取組賞受賞

おがわとかひろ 小川恭弘さん

出石町在住。大阪からUターンし、
2014年に農業スクール入校。16
年、自営就農。22年、フードロ
ス解消のためキッチンカーを導入。
23年、自身企画の収穫・農業体
験が大阪・関西万博「ひょうごフ
ールドパピリオン」に認定され外国
人や障害者のおもてなしを研修中。

本格的に農業に取り組む
きっかけは、市が募集し
ていた「豊岡農業スクール」で
す。地域の農業者を「親方」に
して学びました。「親方」は農
業だけでなくさまざまな人との
つながりをつくってくれ、私の
財産となっています。

農家の人手不足が問題と
なっています。豊岡では農業を
やりたいという人はなかなか見
つかりません。むしろ都市部
にやる気のある人が多くいます。
一定期間就農できる拠点など、
うまくつながる仕組みができな
いかと考えています。

農業はさまざまな分野に展
開できます。キッチンカーを活
用することで「食」。農業体験
を提供することで「観光」。「健
康」や「福祉」にもつなげるこ
とができます。私は農産物の
生産を主力事業としたうえで、
地域活性化のため、食と観光
と農業の複合施設を造ること
を目指しています。

野菜を買うときは産地表示
を見て、地元のものを選んでく
ださい。なんといってもおいし
いです。皆さんに喜んで食べて
もらうことが、何よりも力にな
り、励みになります。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

師走の伝統行事を体験 豊岡幼稚園で餅つき会を開催



師走を迎えた12月6日、豊岡幼稚園で
は、園児と保護者約20人が集まり、
餅つき会が行われました。

園児は保護者と一緒にはねを使って餅つき
を体験した後、「温かくて気持ちいい」とつ
きたての餅の感触を楽しみながら丸めまし
た。自分たちで作った餅に、きな粉とみたら
しあんをつけて食べた子どもたちは「甘
くておいしい」「9回おかわりした」などと、
満面の笑みでした。

完成が待ち遠しい 城崎小5年生が架替工事中の城崎大橋を見学



架替工事中的の新「城崎大橋」を10月31日、
城崎小学校の5年生が見学しました。
この橋は現在の城崎大橋が老朽化や幅員
狭小などの課題があるため、約1km下流に
県が架替工事を行っているもので、2025年
3月末までに完成予定です。橋上や橋桁内
部を見学した児童は「遠くで見ていた橋は
こんなに大きかったんだ」と興味津々でし
た。また、完成を願って児童らが制作した
メッセージプレートは、完成した橋の内部
に掲示されます。

豊岡市 SNS LINE X Facebook Instagram 各施設・事業の SNS

※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。